

# 俱知安町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

俱知安町は、北海道・後志地方の中央に位置し、秀峰「羊蹄山」の麓にある人口17,114人（令和7年1月1日現在）の町である。昭和47年12月20日には「スキーの町宣言」をし、冬には上質のパウダースノーを求め、国内外から多くの観光客が訪れている。特に、外国人観光客は約63万人（R6年度）の宿泊延数と、北海道を代表する国際リゾート地である。

俱知安町市街地では、幹線道路をルートとする地域間幹線系統の運行があるものの、市街地住民にとって、生活交通としての利用が限定される路線であったことから、市街地における公共交通不便地域の解消とJR俱知安駅でのJR函館本線、他の地域間幹線系統との接続に対応する公共交通として、平成24年4月から“まちなか循環バス「じゃがりん号」”を通年運行している。「じゃがりん号」は、通年運行以来、市街地の高齢者や乳幼児を連れた主婦層の「生活の足」として、必要不可欠な移動手段になっていることから、地域公共交通確保維持事業により、今後も確保・維持していきたい。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

新規利用者からリピーターへの拡大を図るべく、下記系統ごとに1便あたりの平均乗車数を設定するとともに、全体乗車数の目標値を27,767人、持続可能な交通体系を維持するために、運賃収入の目標値を2,197,400円と設定した。

①東西ルート:4.5人、②東西ルート拡大:16.9人、③東西ルート快速:11.9人、④東西ルート拡大・旭ヶ丘:11.9人、⑤東西ルート快速・旭ヶ丘:5.0人、⑥南北ルート:5.9人、⑦南北ルート拡大:8.3人、⑧南北ルート快速:3.5人、⑨南北ルート・旭ヶ丘:2.1人、⑩南北ルート拡大・旭ヶ丘:7.0人

## 令和7年度事業概要

●市街地を大きく2つのルートに設定し、それぞれにおいて、旭ヶ丘公園経由便や全停留所、一部停留所に停車する便を設定

①東西ルート 平日2便・土日祝日1便

⑥南北ルート 平日2便・土日祝日1便

②東西ルート拡大 平日2便・土日祝日2便

⑦南北ルート拡大 平日2便・土日祝日2便

③東西ルート快速 平日3便・土日祝日3便

⑧南北ルート快速 平日3便・土日祝日3便

④東西ルート拡大・旭ヶ丘 平日2便・土日祝日2便

⑨南北ルート旭ヶ丘 平日1便・土日祝日1便

⑤東西ルート快速・旭ヶ丘 平日1便・土日祝日1便

⑩南北ルート拡大・旭ヶ丘 平日2便・土日祝日2便

●乗車料金 大人100円 中学生以下無料（回数券12枚：1,000円、定期券1ヶ月：2,000円）

## 地域公共交通の現況

- ・JR函館本線 俱知安駅、普通列車発着39本
- ・ニセコバス 幹線2路線（3系統）  
町内1路線（2系統）
- ・道南バス 幹線2路線（2系統）  
町内3路線（5系統）
- ・スクールバス 5系統（うち4系統は無料  
住民利用を実施）
- ・自家用有償旅客運送 2路線（10系統）
- ・ハイヤー 5社

## 協議会開催状況

令和6年11月25日 第48回協議会を開催

- ・令和6年度（10～9月）の運行実績及び事業評価
- ・自家用有償運送登録申請について
- ・令和6年度郊外地域デマンドバス実証運行案について

令和7年6月23日 第49回協議会を開催

- ・令和6年度協議会収支決算
- ・令和6年度（9月～10月）運行結果について
- ・令和7年度（4月～3月）の事業方針・予算
- ・フィーダー系統補助に係る俱知安町地域公共交通計画（案）

令和7年10月23日 第50回協議会を開催（書面）

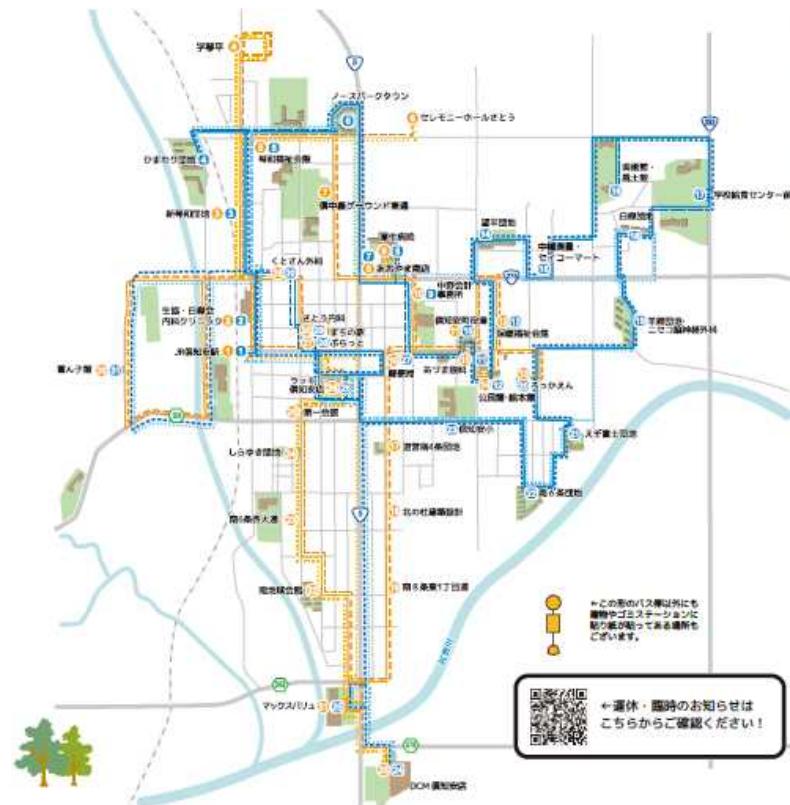
- ・俱知安圏における旅客運送を確保するための営業区域外旅客運送の必要性の有無について
- ・令和7年度郊外地域デマンドバス実証運行について

## 令和7年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

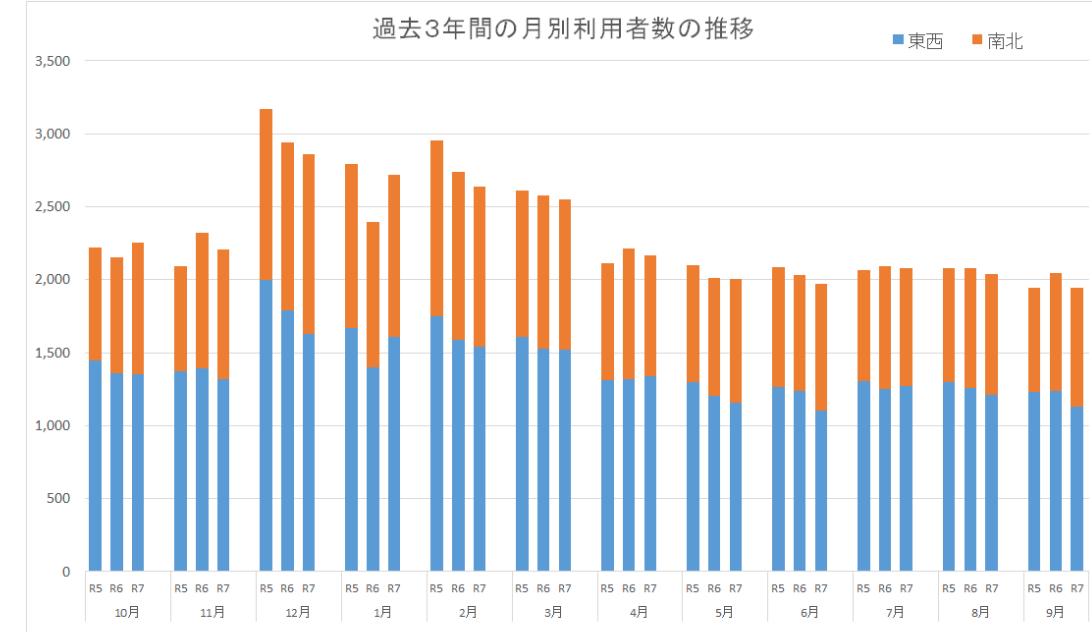
- 住民にとって、これまで以上に身近な公共交通機関とする
- 安全安心な公共交通を確立すべく、運転手との意見交換会を実施

### 2) 運行系統



### 3) 利用実績

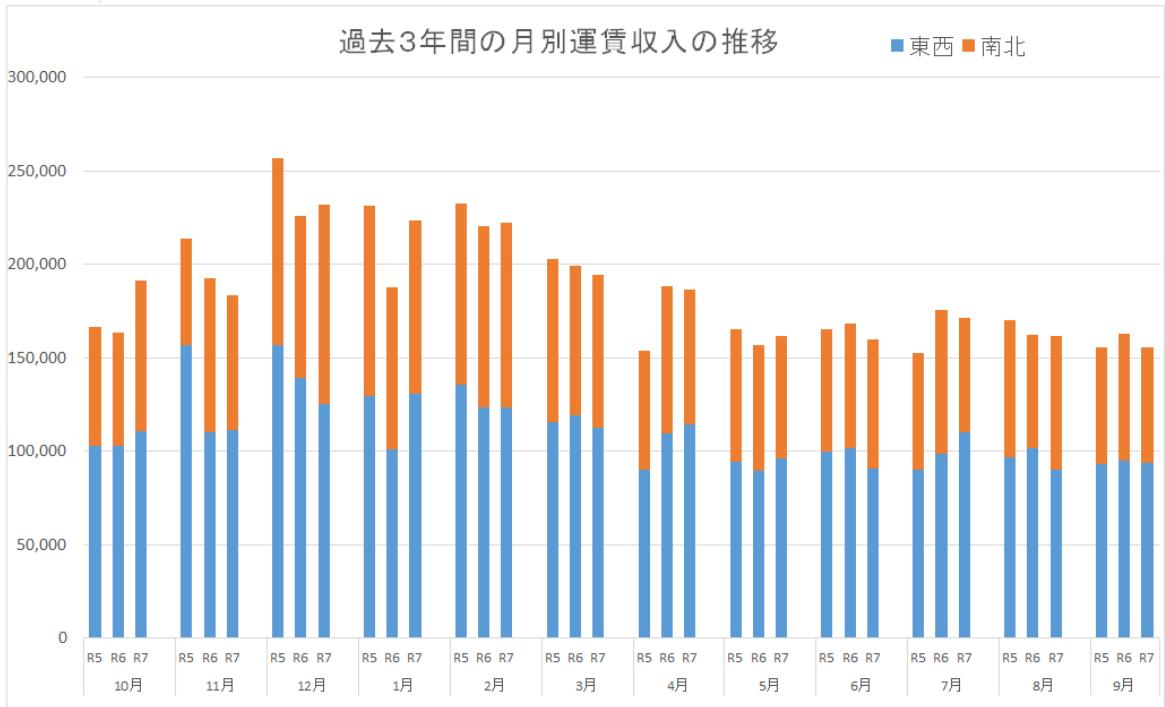
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	※単位:人
R5年度東西	1,446	1,371	1,995	1,663	1,747	1,603	
R5年度南北	768	719	1,172	1,126	1,202	1,005	
R6年度東西	1,355	1,390	1,789	1,398	1,586	1,521	
R6年度南北	797	927	1,148	991	1,150	1,056	
R7年度東西	1,351	1,316	1,626	1,606	1,534	1,517	
R7年度南北	903	885	1,231	1,109	1,099	1,032	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R5年度東西	1,308	1,293	1,263	1,303	1,294	1,227	17,513
R5年度南北	799	806	818	757	780	716	10,668
R6年度東西	1,315	1,201	1,236	1,250	1,253	1,236	16,530
R6年度南北	898	809	790	841	823	803	11,033
R7年度東西	1,335	1,156	1,098	1,269	1,206	1,127	16,141
R7年度南北	829	849	867	807	828	813	11,252



### 4) 収入実績

■運賃収入(単位:円)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5年度東西	102,700	114,010	156,260	129,400	135,210	115,310	
R5年度南北	63,600	57,000	100,100	101,860	96,900	87,200	
R6年度東西	102,500	110,065	138,900	100,800	123,000	118,800	
R6年度南北	60,400	82,300	86,890	86,500	97,100	79,950	
R7年度東西	110,300	110,800	125,100	130,505	123,401	112,200	
R7年度南北	80,600	72,600	106,700	92,400	98,500	82,000	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R5年度東西	89,850	94,060	99,400	89,800	96,600	92,910	1,315,510
R5年度南北	63,790	71,200	65,400	62,400	73,200	62,310	904,960
R6年度東西	109,010	89,000	101,200	98,200	101,600	94,800	1,287,875
R6年度南北	79,010	67,200	66,500	77,100	60,600	68,000	911,550
R7年度東西	114,300	95,900	90,201	110,000	89,600	93,500	1,305,807
R7年度南北	71,600	65,600	69,200	61,100	71,900	61,600	933,800



■協賛広告収入(単位:円)

	協賛広告
R5年度	332,000
R6年度	342,000
R7年度	416,000

## 5)事業実施の適切性

計画している運行日数、運行回数どおりに実施した。

## 6)目標・効果達成状況

夏期には徒歩や自転車の利用で、バス利用者が少なくなるが、冬期に利用者が増加する傾向は例年と変わらずあった。

全体乗車数は、目標値27,767人に対し、27,393人（達成率98.6%）、と目標値をわずかに下回り、運賃収入は、目標値2,197,400円に対し、2,239,607円（達成率101.9%）と目標値をわずかに上回る結果となった。

## 7)事業の今後の改善点

### 【利用促進・利便性】

○ルート・ダイヤ改正から8年が経過し、これまでの運行実績や実情に応じ、「集まる場所」へのルート・ダイヤ設定など、様々な方向から運行方法について検討する。

○じゅがりん号の使い方（利用方法）を広く周知し、利用したことのない町民に対し、利便性の高い公共交通ということを認識させる。

### 【財源確保】

○車体への協賛広告など、大手企業からの広告収入の検討

系統名	平均乗車数 目標／実績	系統名	平均乗車数 目標／実績
東西ルート	4.5人／1.4人	南北ルート	5.9人／3.8人
東西ルート拡大	16.9人／7.5人	南北ルート拡大	8.3人／4.2人
東西ルート快速	11.9人／3.5人	南北ルート快速	3.5人／1.5人
東西ルート 拡大・旭ヶ丘経由	11.9人／6.4人	南北ルート・旭ヶ丘 経由	2.1人／2.7人
東西ルート快速・ 旭ヶ丘経由	5.0人／5.5人	南北ルート 拡大・旭ヶ丘	7.0人／4.3人
全体乗車数（目標／実績）[達成率]		運賃収入（目標／実績）[達成率]	
27,767人／27,393人[98.6%]		2,197,400円／2,239,607円[101.9%]	

## 8)地方運輸局等における二次評価結果（案）

運輸局記載欄